

2019年 第1四半期〔日本基準〕(連結)

決算説明及び会社説明資料



# 目次

---

I. 会社概要及び事業内容	1
II. 2019年 1Q 決算概要	11
III. 今後の展開予定	18
参考資料	34





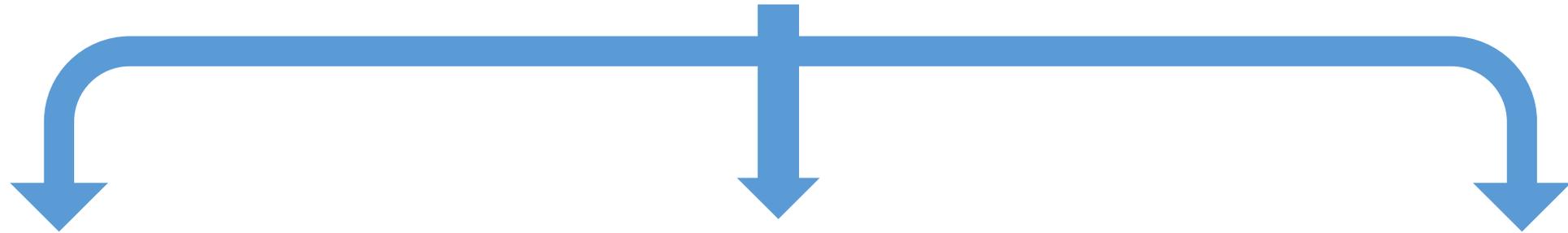
# I. 会社概要及び事業内容

---



# 会社概要

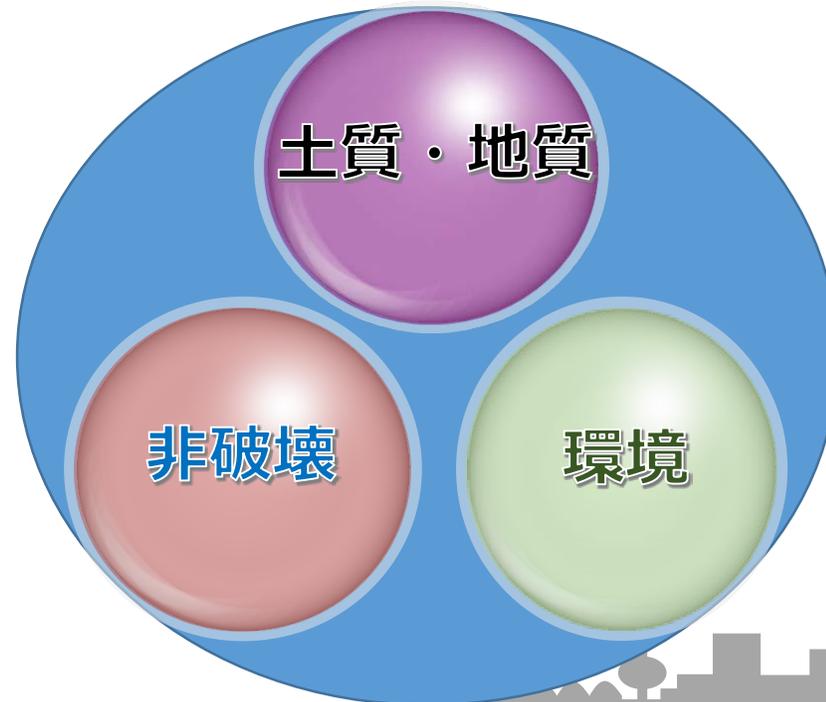
商号	株式会社土木管理総合試験所(6171) C.E.Management Integrated Laboratory Co.Ltd
本社	【長野本社】長野県千曲市雨宮2347-3 【東京本社】東京都台東区上野5-15-14-5F
事業所	2本社、17支店、3出張所、4試験センター
資本金	11億8,126万1,000円
従業員数	393人(2019年3月31日現在)
設立	昭和60年10月
事業内容	試験総合サービス事業:土質・地質調査試験、非破壊調査試験、 環境調査試験 地盤補強サービス事業:地盤補強工事 その他事業:試験機器販売等



地盤補強サービス事業

試験総合サービス事業

その他事業



## 試験総合サービス事業 売上比率89%

### 土質・地質調査試験



### 非破壊調査試験

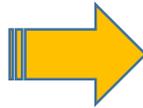


### 環境調査試験



## 地盤補強サービス事業 売上比率 9%

一般住宅及び中・大型物件



地盤調査の実施



必要に応じて

地盤改良・補強工事の実施





## その他事業 試験機器・ソフトウェア販売 売上比率 2%



当社 製造販売試験機器



子会社(株)ISP ソフトウェア販売

※NETIS【KT-100031-A】登録（国交省 新技術情報提供システム）

※特許取得 第5420936号

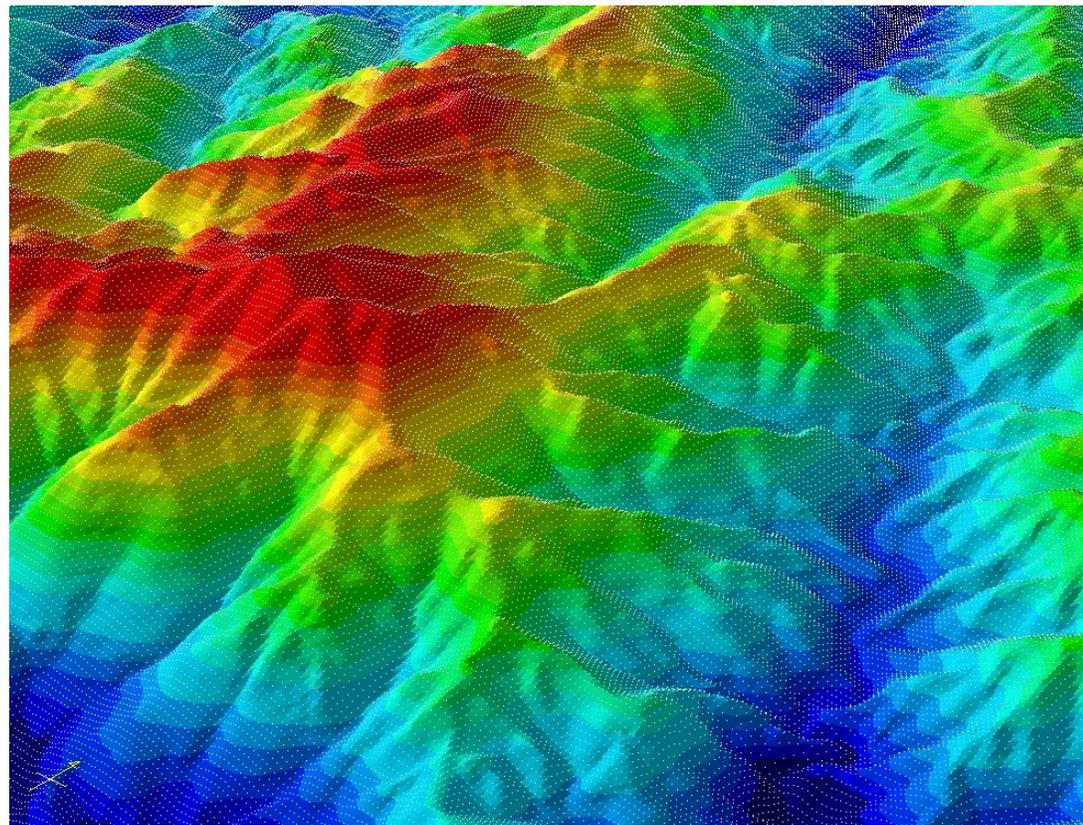




# 株式会社isp (アイ・エス・ピー) これまでのマイルストーン

- 1990年 ● 札幌市にて創業  
*LandForms*(DOS版)販売開始
- 1993年 ● 東京事務所を開所
- 1998年 ● *LandForms*(Windows版)販売開始
- 2004年 ● 大量点群処理機能(DATA Cleaner)の開発によりレーザーデータに対応
- 2013年 ● *LandForms*の64bit対応により、パソコンのメモリ容量に応じた大量点群処理を実現
- 2018年 ● 土木管理総合試験所の傘下に子会社として入る

*i*ntegrated *S*oftware *P*roducts



**3次元設計・解析のパイオニア**



# 主カソフトウェアの特徴

*GeoForm*

高速三角網計算

座標編集・変換

ラスタ追跡

3Dモデルの編集・解析

*LandForms LT*

*LandForms*

断面計算(縦横断)

道路・造成計画

\*出来形管理

データクリーナー

メッシュ・スライス数量

ベクトル作成

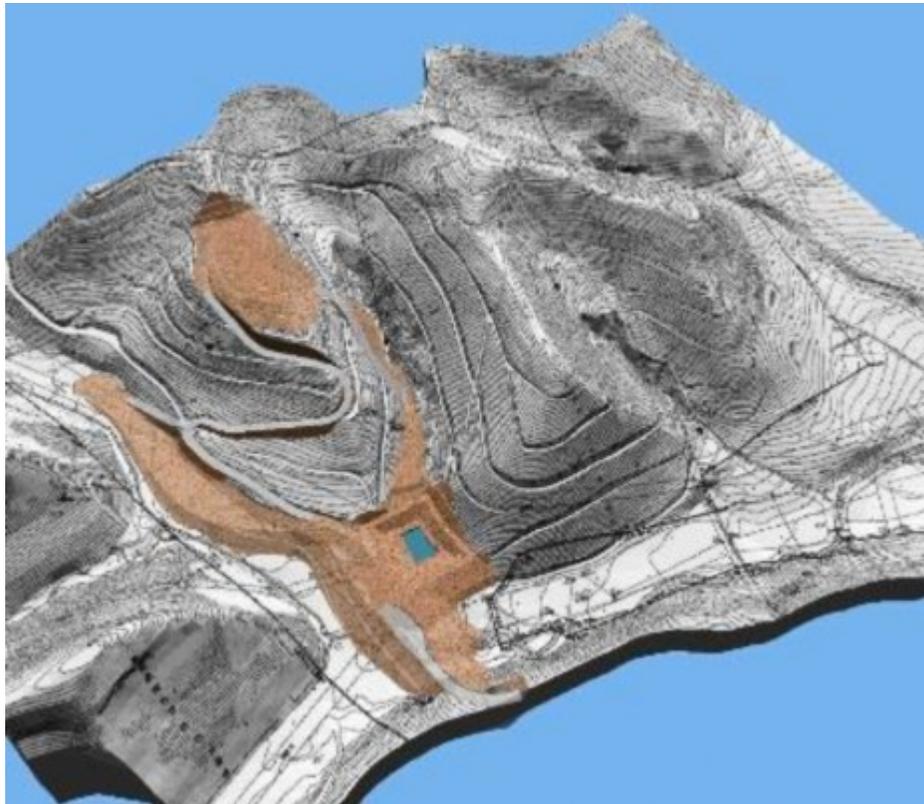
ビデオ鳥瞰

TINデータ変換

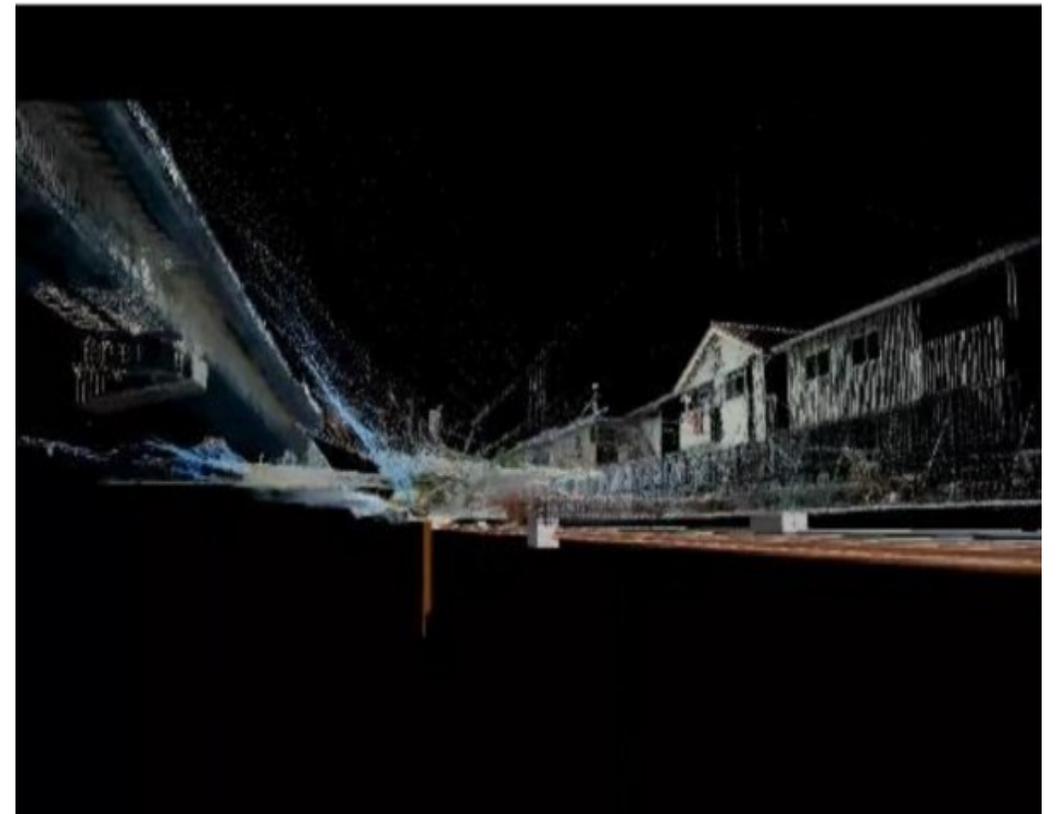
XYZメッシュ

# LandForms -3D空間設計・解析システム-

## スライス(等高線)土量管理



## 3Dシミュレーション動画の作成



4188万点の点群を地形データとして利用（*LandForms*の”ビデオ鳥瞰”機能を使い動画出力）

施行前の道路と周辺シミュレーション動画



道路完成後の道路計画シミュレーション動画





## Ⅱ. 2019年 1Q 決算概要

---



# 2019年 1Q 決算概要

(百万円)

	2018年 1Q	2019年 1Q	前期比(%)
売上高	1,448	1,637	113
営業利益	173	205	118
経常利益	172	214	124
当期純利益	111	139	125
一株あたり当期純利益(円)	8.4	9.6	114

※前年との比較を行うため、単体決算の数値を記載しております。



# セグメント別内訳

## 試験総合サービス事業

(百万円)

	2018年 1Q	2019年 1Q	前期比(%)
売上高	1,369	1,480	108
セグメント利益	301	355	118

## 地盤補強サービス事業

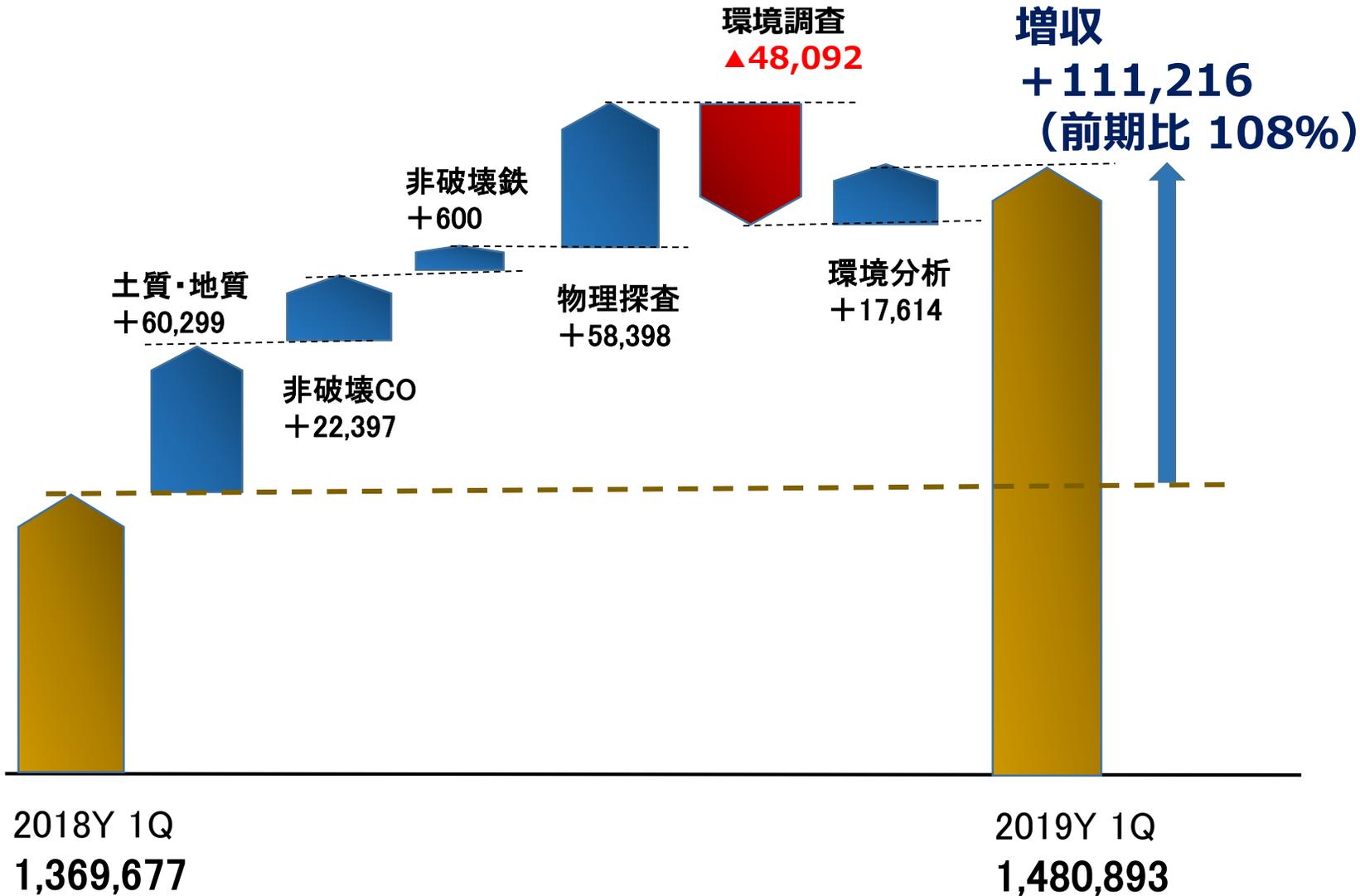
	2018年 1Q	2019年 1Q	前期比(%)
売上高	66	141	211
セグメント利益	0	9	1,107

※前年との比較を行うため、単体決算の数値を記載しております。



# 売上高内訳 試験総合サービス

国土土木管理総合試験所



(単位:千円)

## 主な増減要因

### 土質・地質 (増因)

災害復興関連事業や工事竣工検査へ向けた品質管理業務・受注案件の大型化。

### 非破壊CO (増因)

橋梁・水道施設・トンネル・高速道路等の劣化調査が堅調に推移

### 非破壊鉄 (増因)

金属の超音波探傷調査は長期的な受注が見込まれ安定的な収益に

### 物理探査 (増因)

インフラの維持管理業務が好調

### 環境調査 (減因)

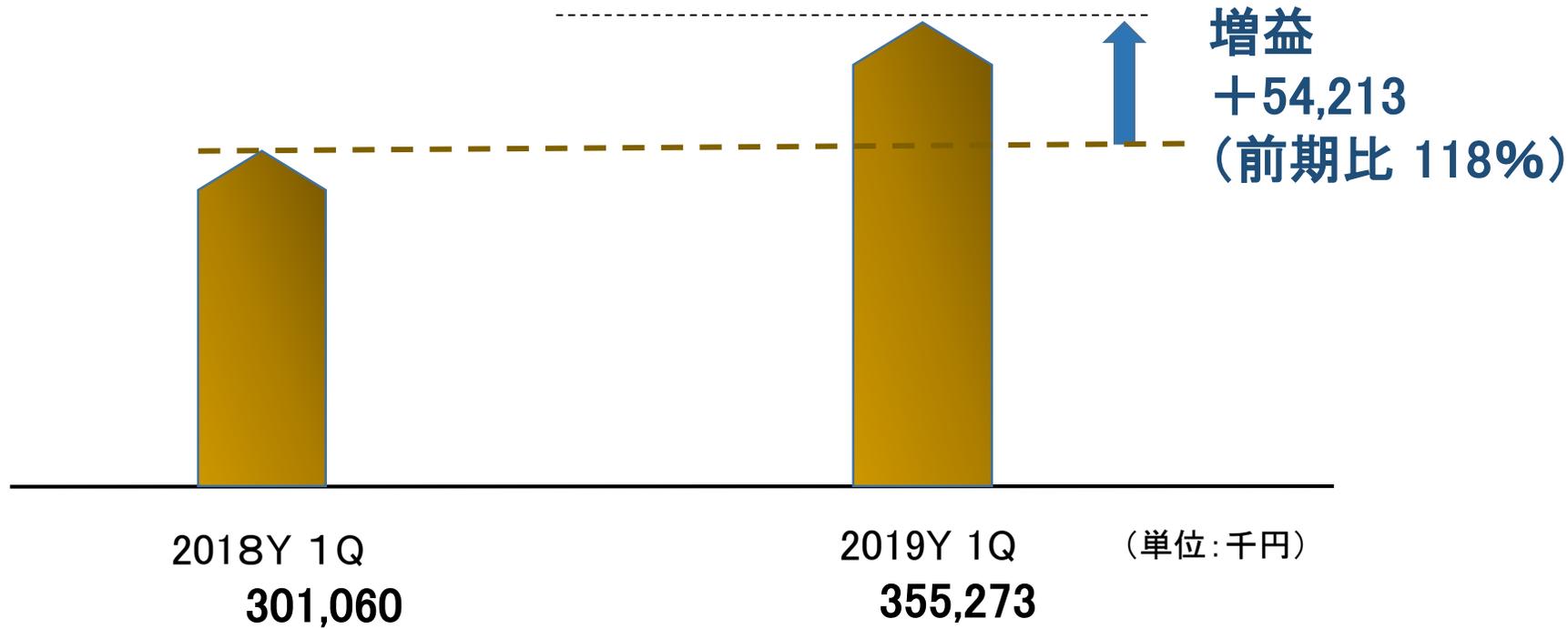
アスベスト調査が好調  
前年比で土壌浄化工事の大型案件が減少

### 環境分析 (増因)

土壌汚染の分析、塗膜分析等の受注が増加傾向にあり西日本試験センターで対応を強化



# セグメント利益 試験総合サービス事業

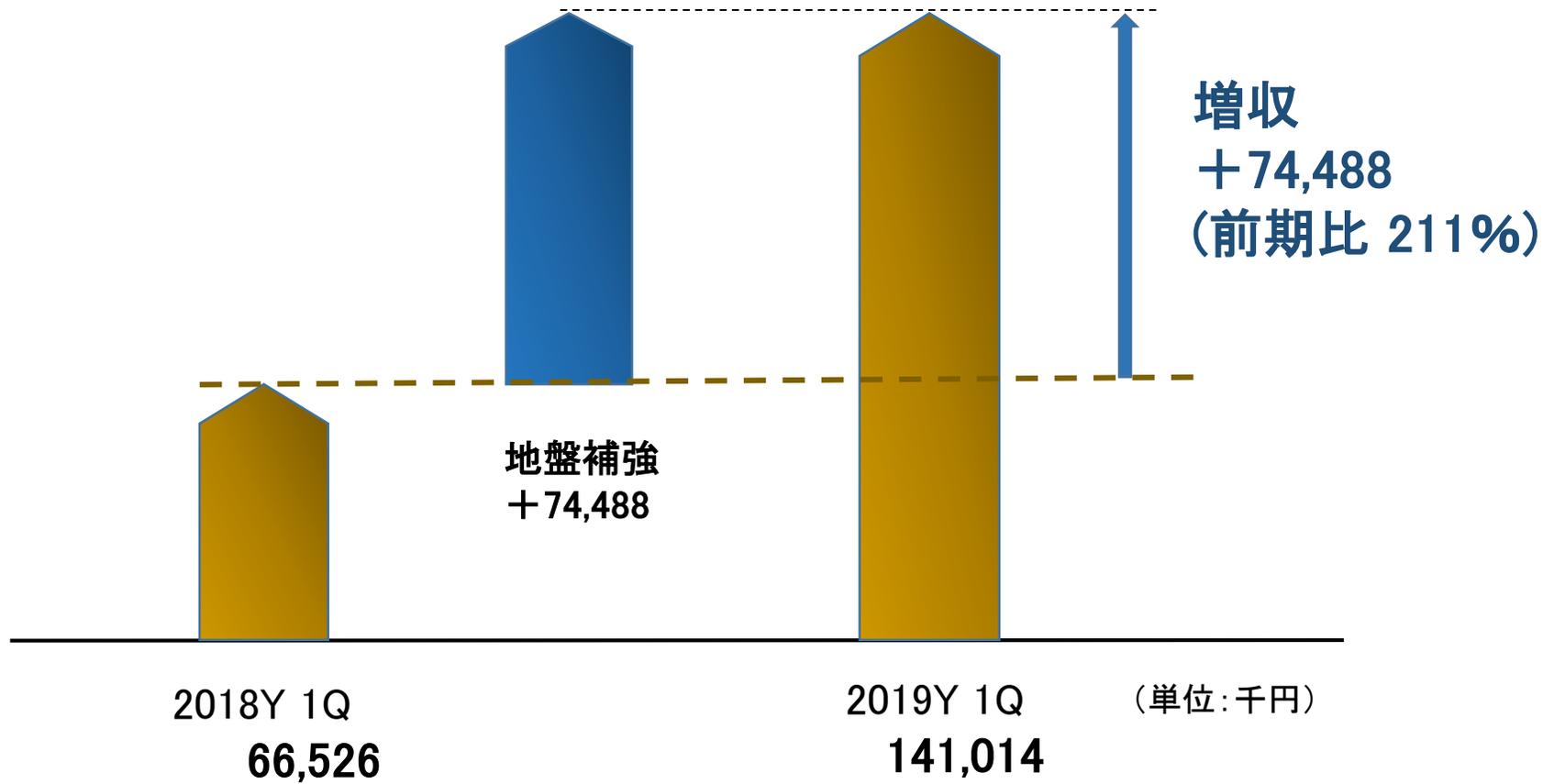


## 主な増減要因

- 土質・地質調査試験、物理探査業務の利益率の改善
- 実効予算の精度向上
- 大型案件の受注が順調に推移



# 売上高内訳 地盤補強サービス



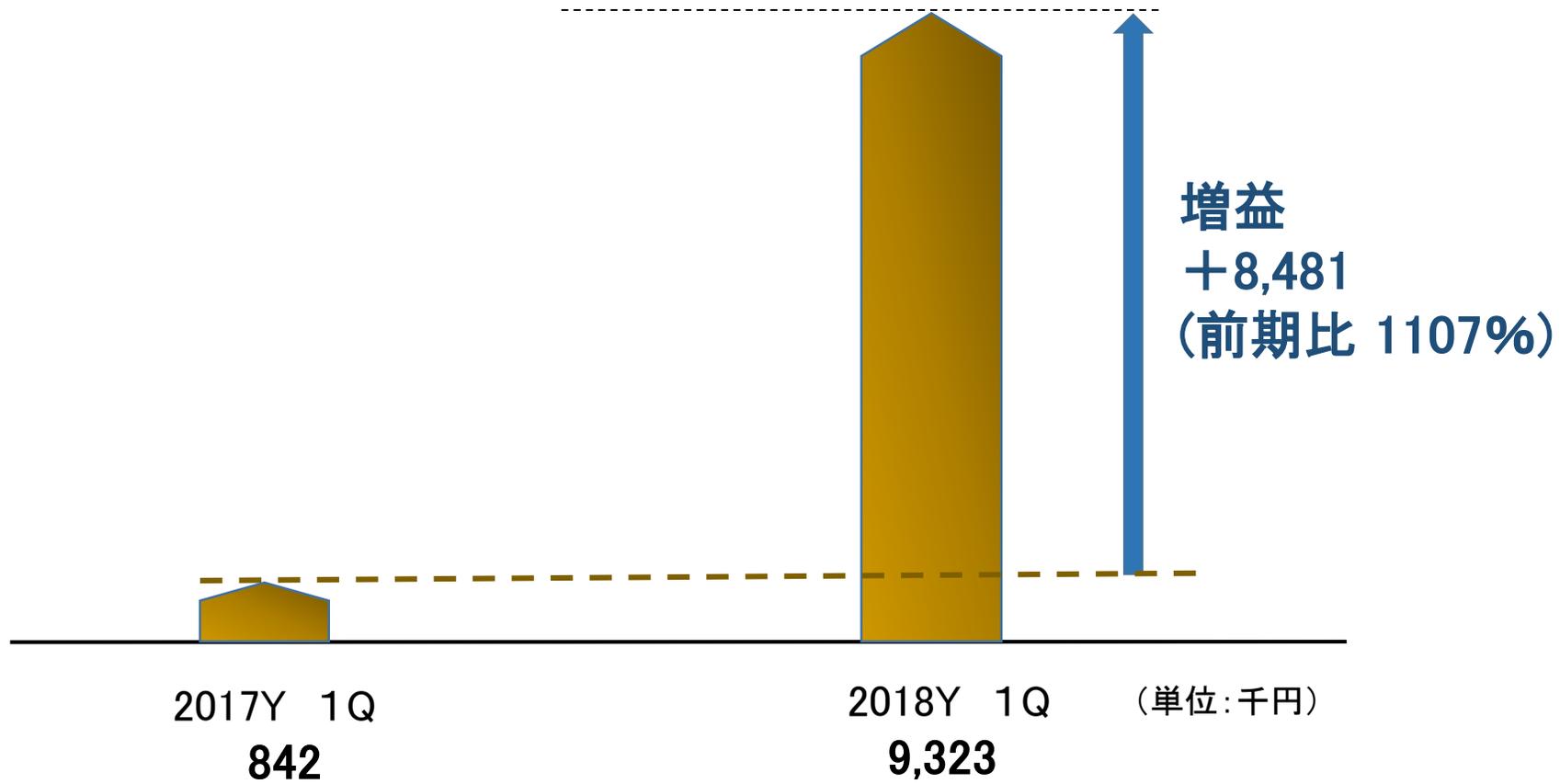
## 主な増減要因

### 地盤補強

大型案件の受注が順調に推移



# セグメント利益 地盤補強サービス事業



## 主な増減要因

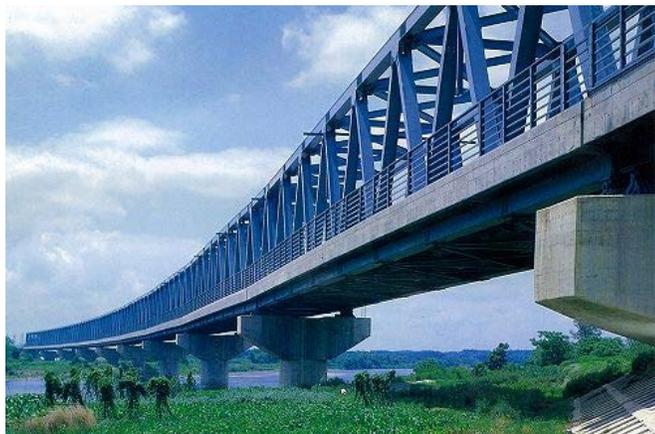
大型案件の受注が好調  
利益率が改善



## Ⅲ. 今後の新たな成長戦略

---

平成26年の法改正により、2m以上の橋梁及びトンネルは、5年に1回の定期点検が義務化



● 社会問題となっているインフラの老朽化



**平成26年の法改正により、2m以上の橋梁及びトンネルは、5年に1回の定期点検が義務化**

- ・点検が必要な橋梁は約70万橋、トンネルは約1万本
- ・道路の調査距離は膨大！高速道路総延長9,341km、一般国道65,843kmに及ぶ！
- ・ブロック塀の倒壊や既存構造物の劣化も社会問題化





# ROAD-S(ロードス)の展開 **ロードス技術の開発**

国土管理総合試験所

 **SIP** 戦略的イノベーション創造プログラム  
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

内閣府主催で科学技術イノベーションの実現が目的

数百の案件から最終的に8件のプロジェクトが実現

2016年から「インフラの点検効率化を助ける橋梁の高速・自動レーダー診断技術」の開発に参画



道路・軌道の異常度診断ビッグデータ共有システム





# ROAD-S(ロードス)の展開 **ロードス技術の開発**



戦略的イノベーション創造プログラム  
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

橋梁の床版内部の異常を高速調査・高速解析可能

「インフラの点検効率化を助ける橋梁の高速・自動レーダー診断技術」を開発

+

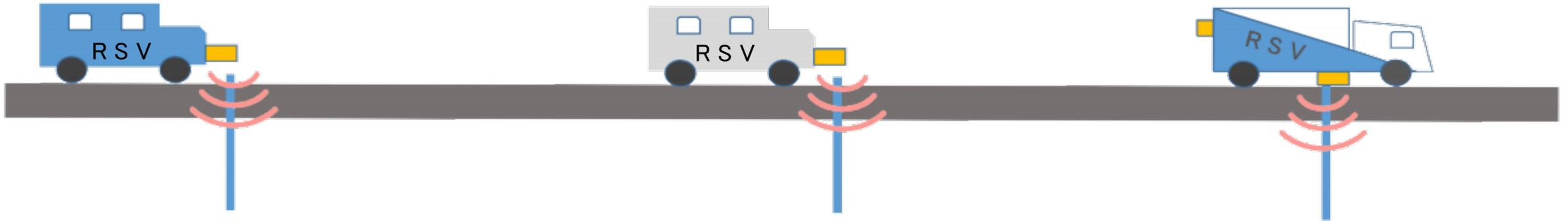
- + 路面下空洞、埋設物、舗装表面の調査等にも対応
- + 調査データをビッグデータ化し、地図上にマッピング！
- + 道路管理者がいつでも確認できる

||

ROAD-S(ロードス)

RSV : Road Scan Vehicle

## ロードス進捗状況



～2018年

SIPでの開発  
ロードスシステム完成  
営業展開

2019年

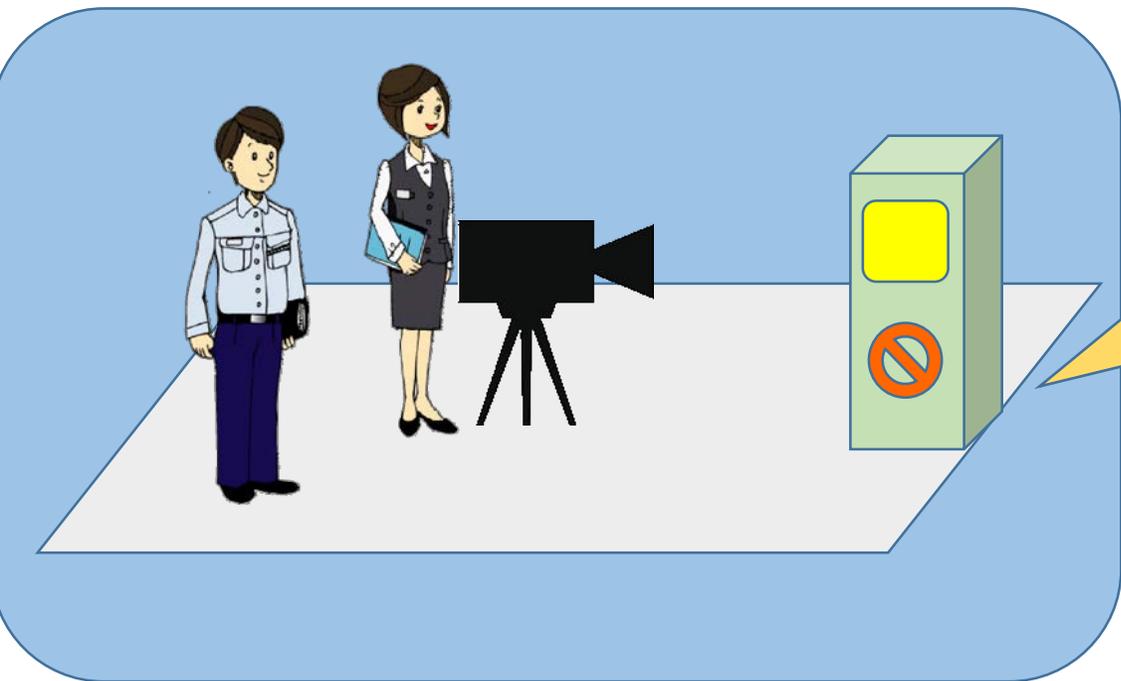
試行導入の推進  
システムの強化  
初受注～収益化へ

2020年～

受注の加速  
機能改善・開発

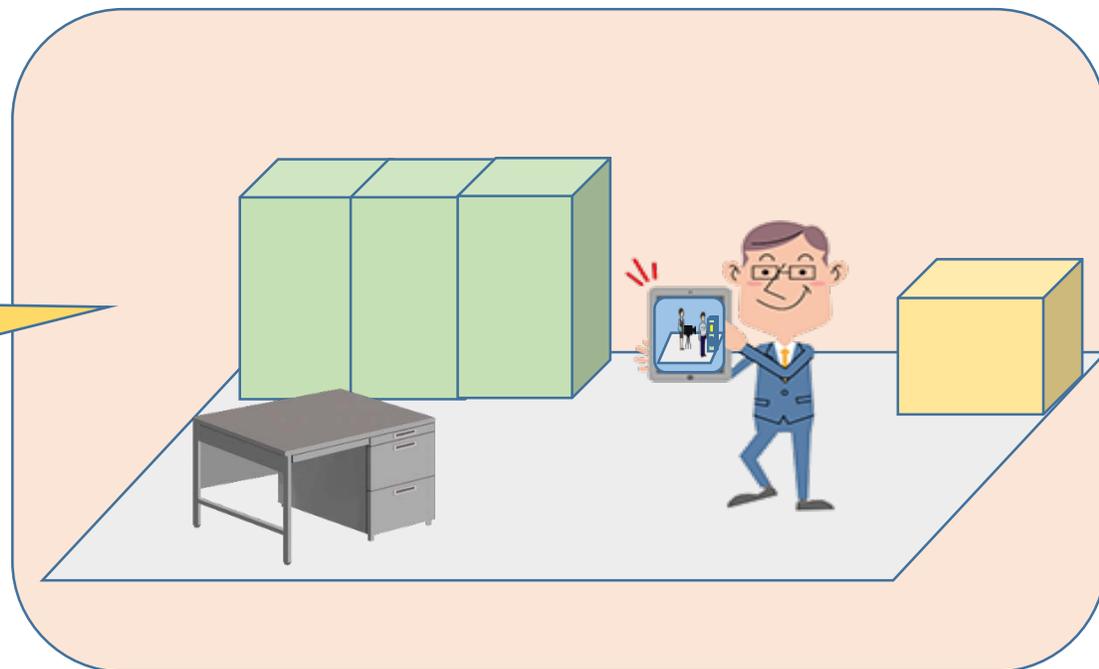
## Laboratory × Connect ラボの試験状況がネットで見学できる

### 当社試験センター



試験の様子をリアルタイムで配信

### お客様



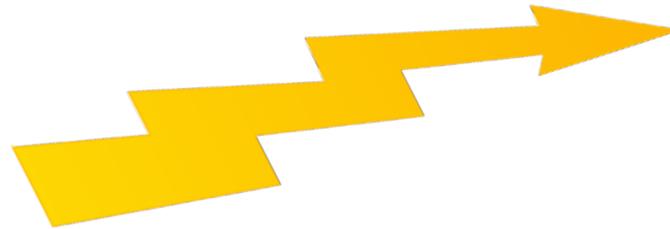
事務所にいながら立会いができる

お客様が現場で診断物を撮影し、当社で診断を行う事も可能。

お客様（現場）

当社試験センター

## 外観目視調査



試験センターで、現場の状況を確認できる  
現場に赴く必要がないので、時間と経費の節減ができる



# ラボラトリーの充実 自動化の推進

国土管理総合試験所

作業の効率化・省力化を目指し自動化を推進

環境分析センター(長野県長野市)



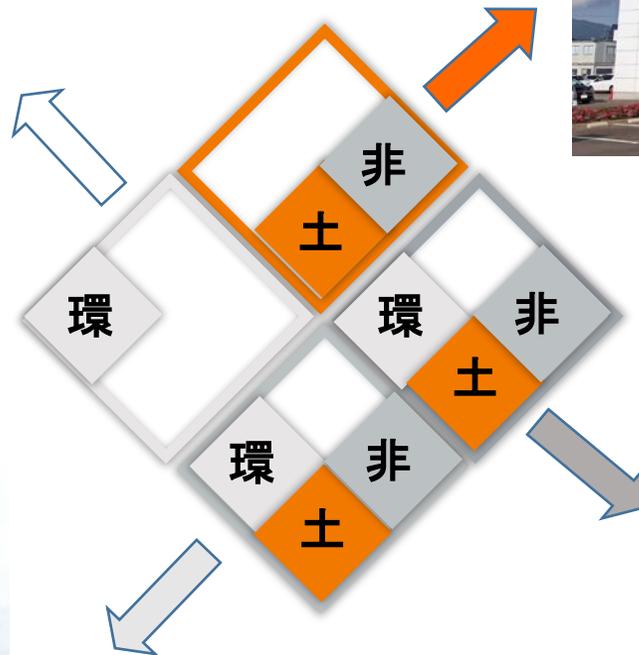
西日本試験センター(山口県山口市)



中央試験センター(長野県千曲市)



自動試料分取装置を開発・設置



東日本試験センター(宮城県仙台市)



土 土質試験

非 非破壊試験

環 環境分析



## 従来の土木管理

全国に拠点を展開





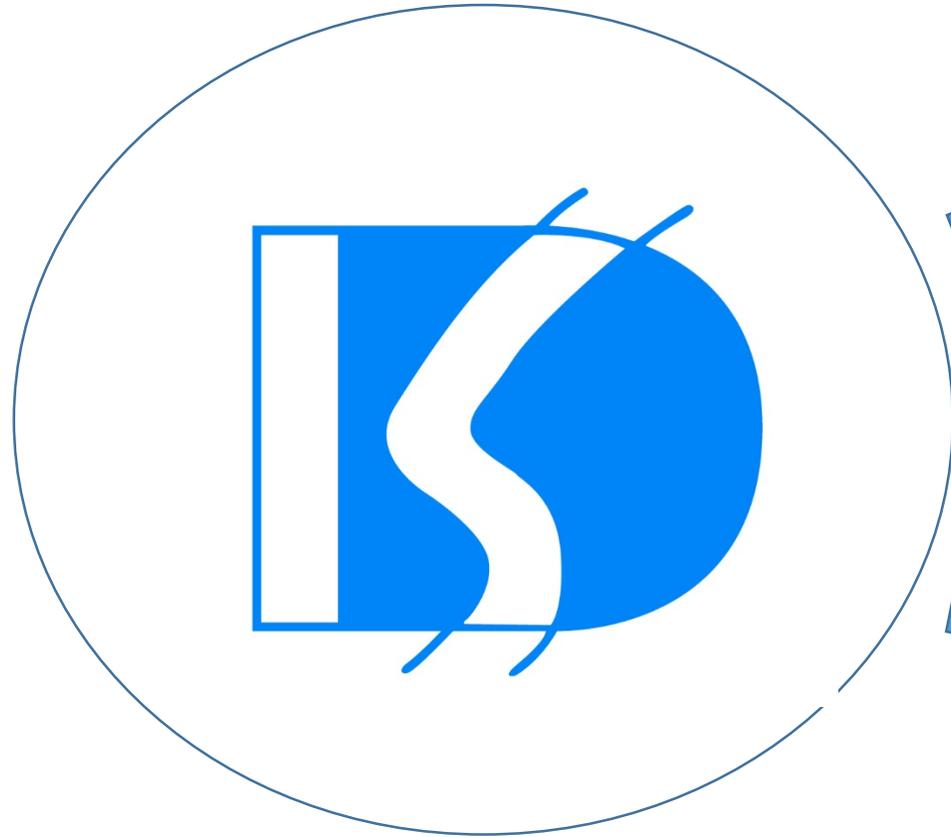
## 地方拠点をFC店化しDK社員を主要拠点到集中させ業務改革を実施

**F** : FC店(フランチャイズ店)



# 働き方の多様化・高度化

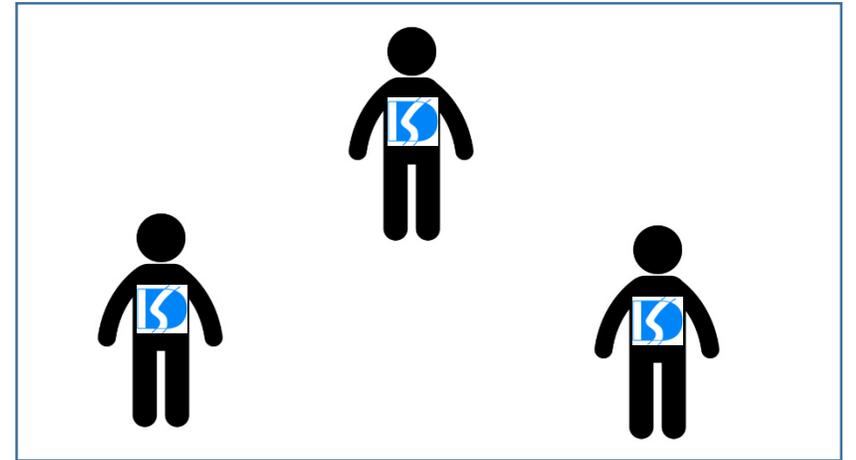
## 従来の土木管理



DK社員  
高度業務へシフト

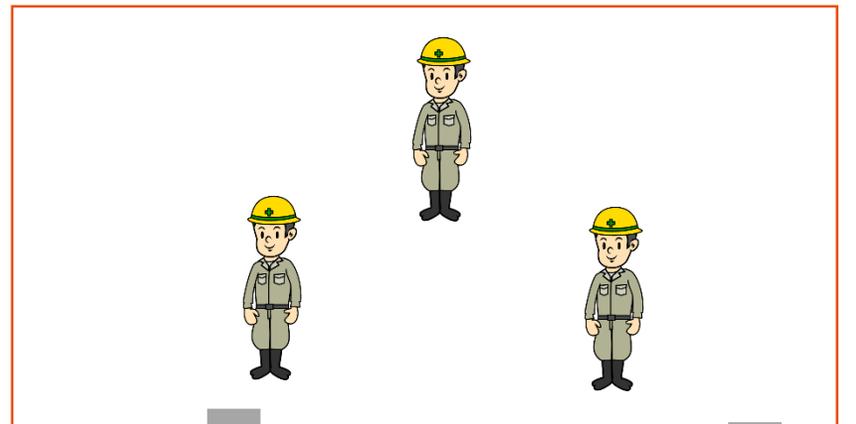
既存業務を移管

## 高度コンサルティング業務



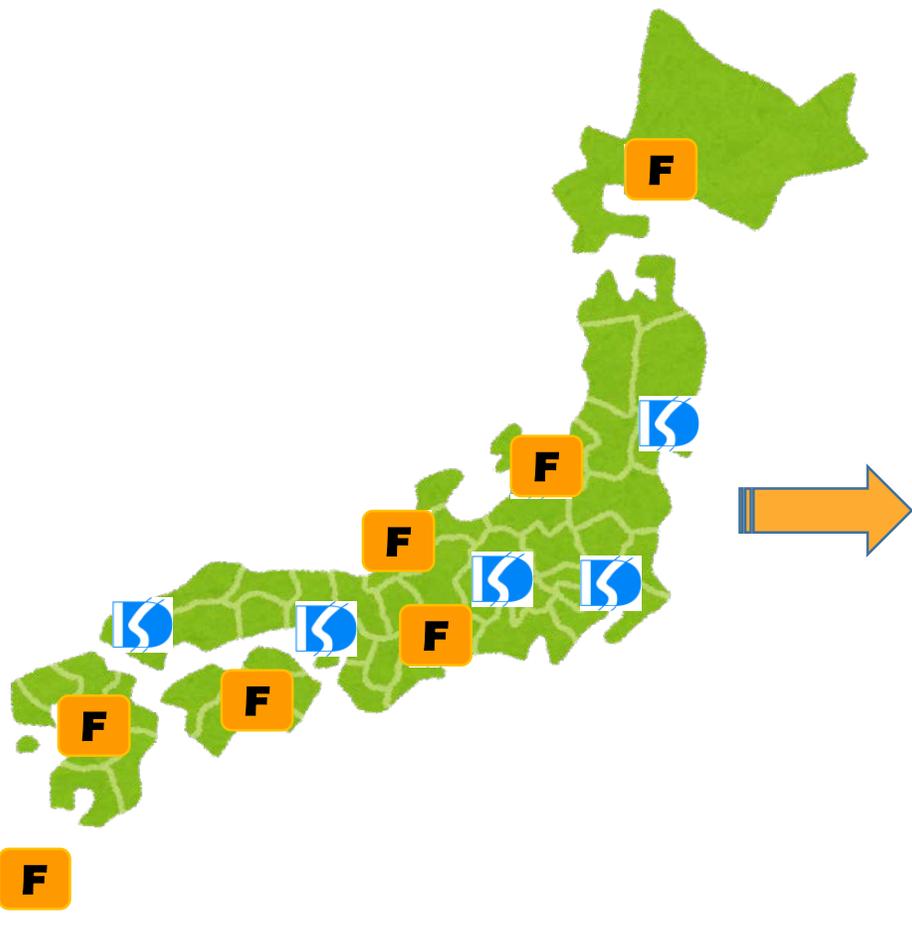
スーパーバイザー等

## FC店

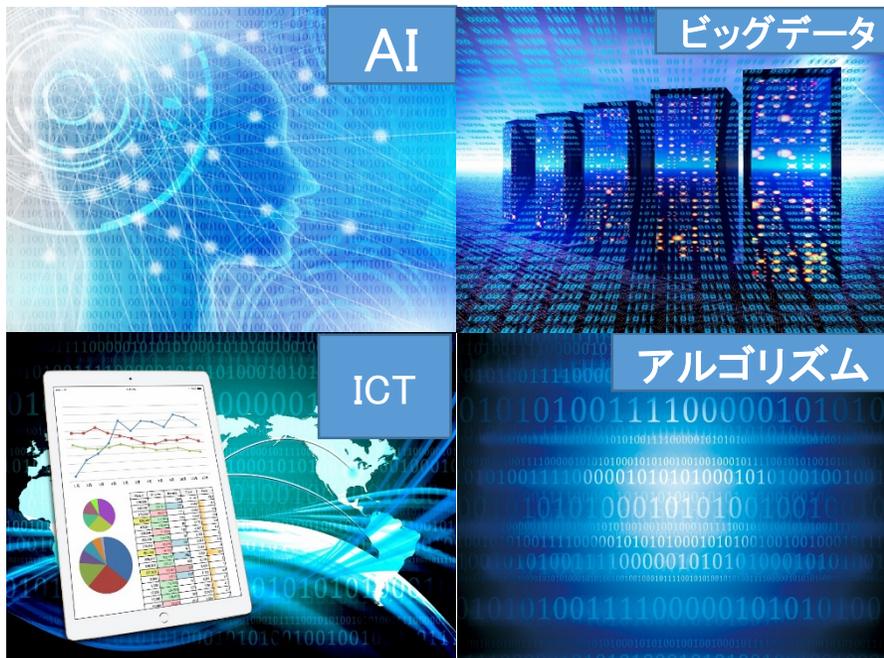


## 新たなステップへ

・DK社員は主要拠点到集中

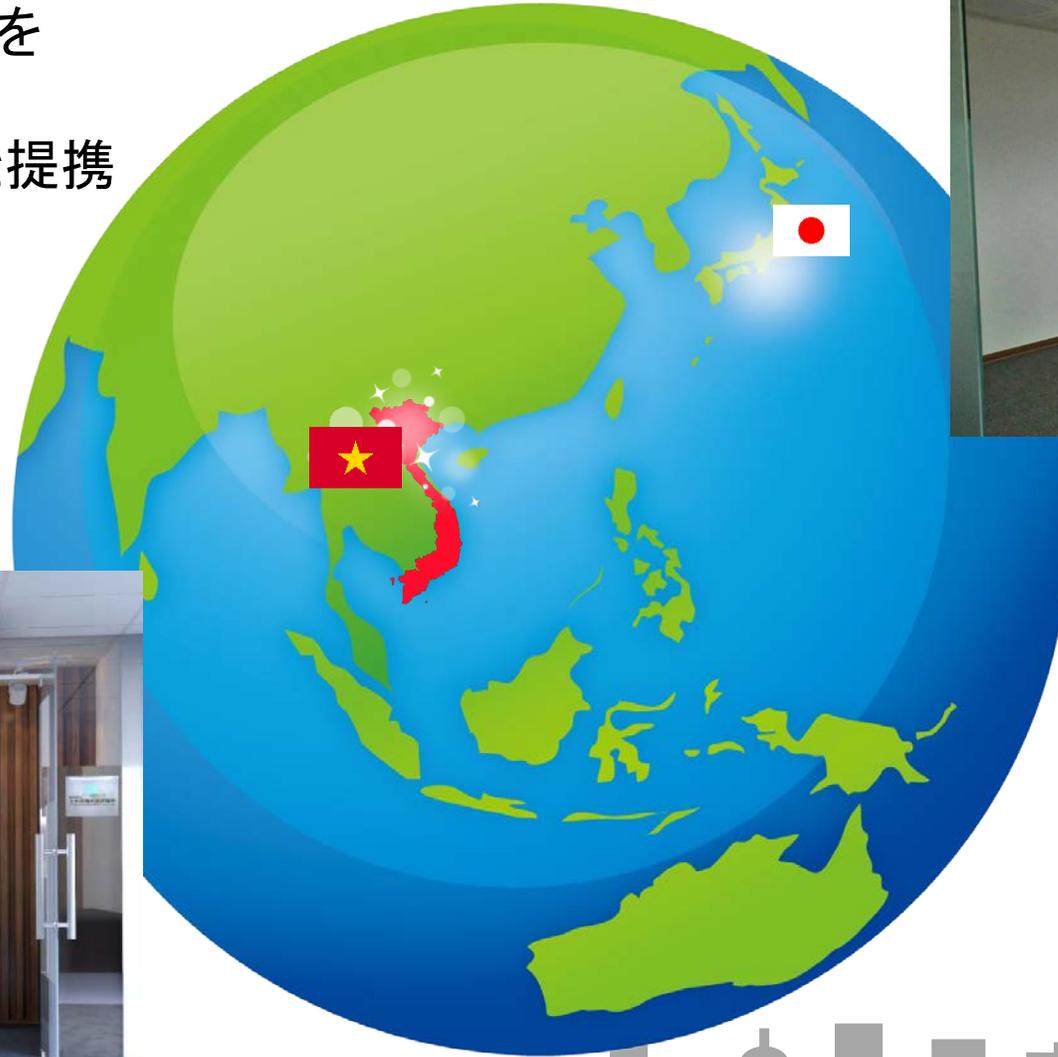


ロードス等の最新技術の開発推進  
業界全体への高度コンサルティング  
大型案件対応

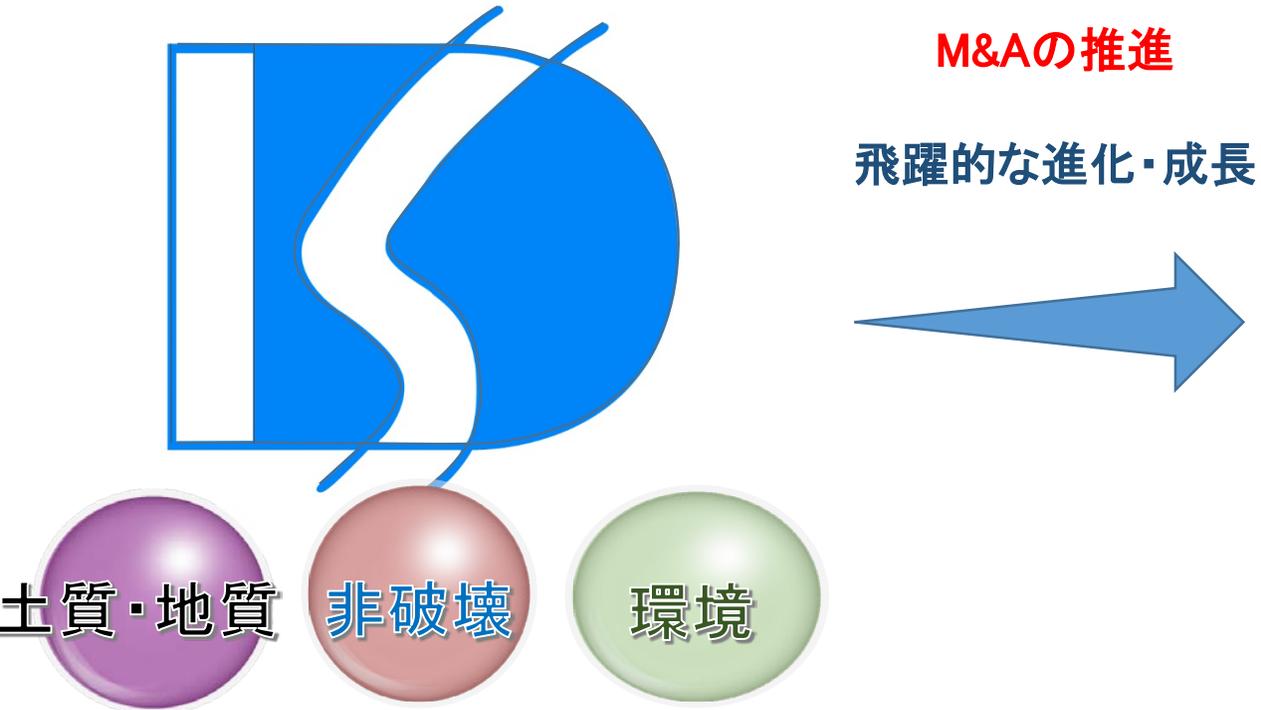


社内構造改革  
働き方改革  
収益体系変化

- ・初の海外拠点として駐在所を  
ベトナム・ハノイに開設
- ・市場調査を進め現地企業と提携



## M&A事業の推進

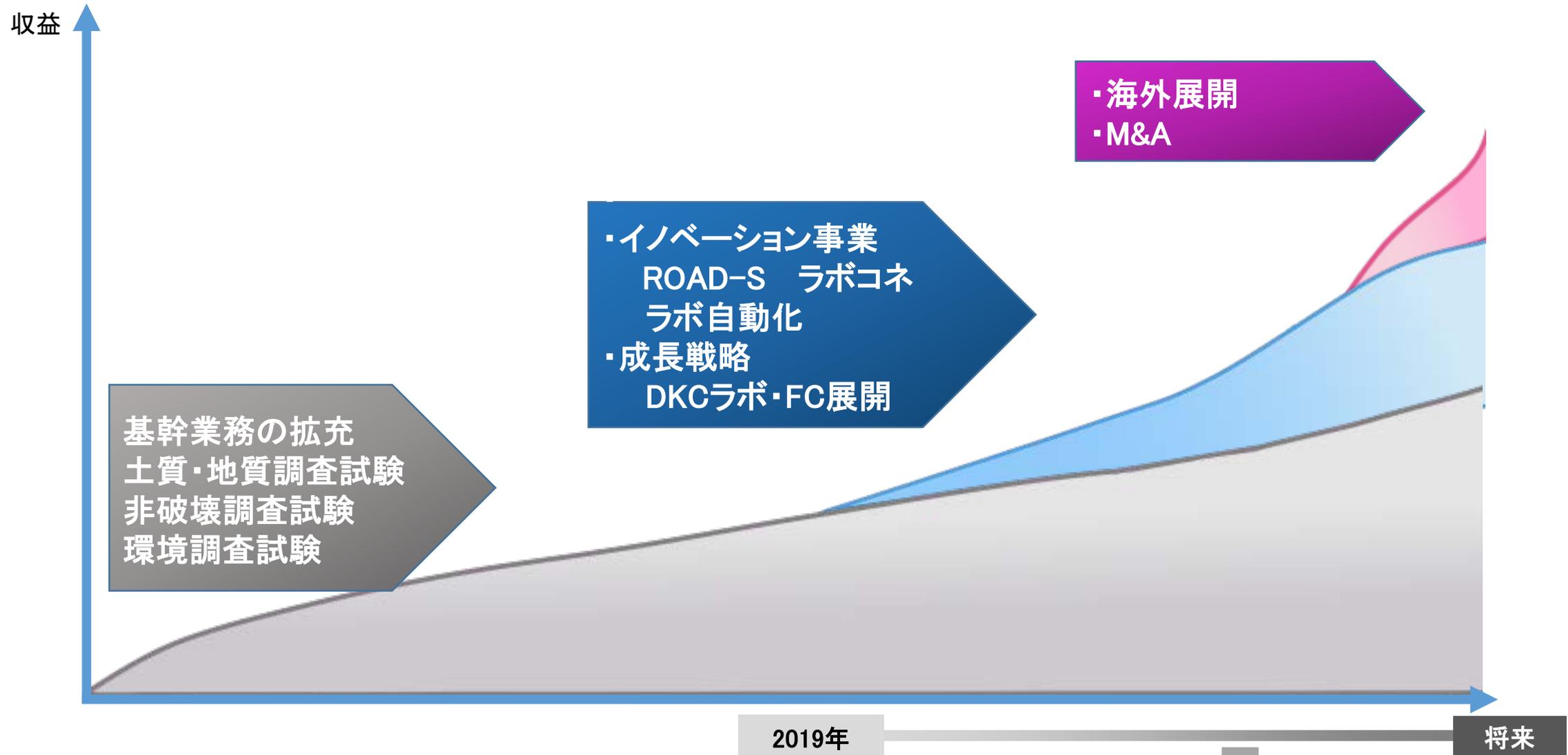


## 新規事業を取り入れて飛躍的に成長

- ・新規事業の獲得、営業範囲の拡充
- ・既存の業務を強化して他社との差別化を図り、収益性を向上させる
- ・経営資源の獲得  
(人材・技術・ノウハウ・ブランド)



# 将来の成長イメージ





# 参考資料

---



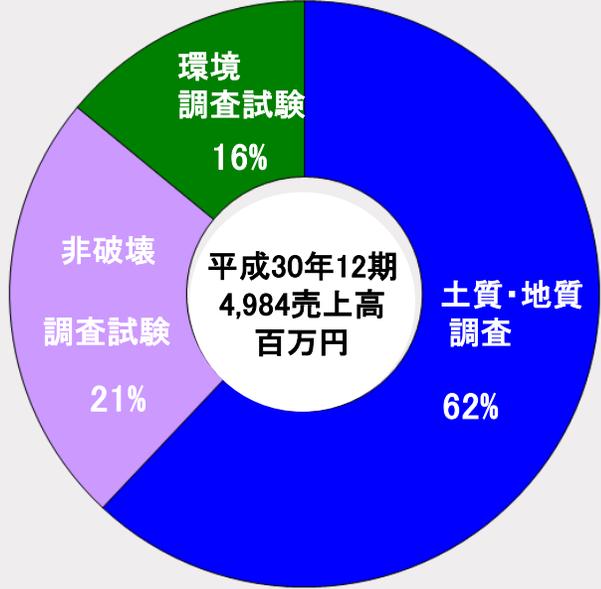
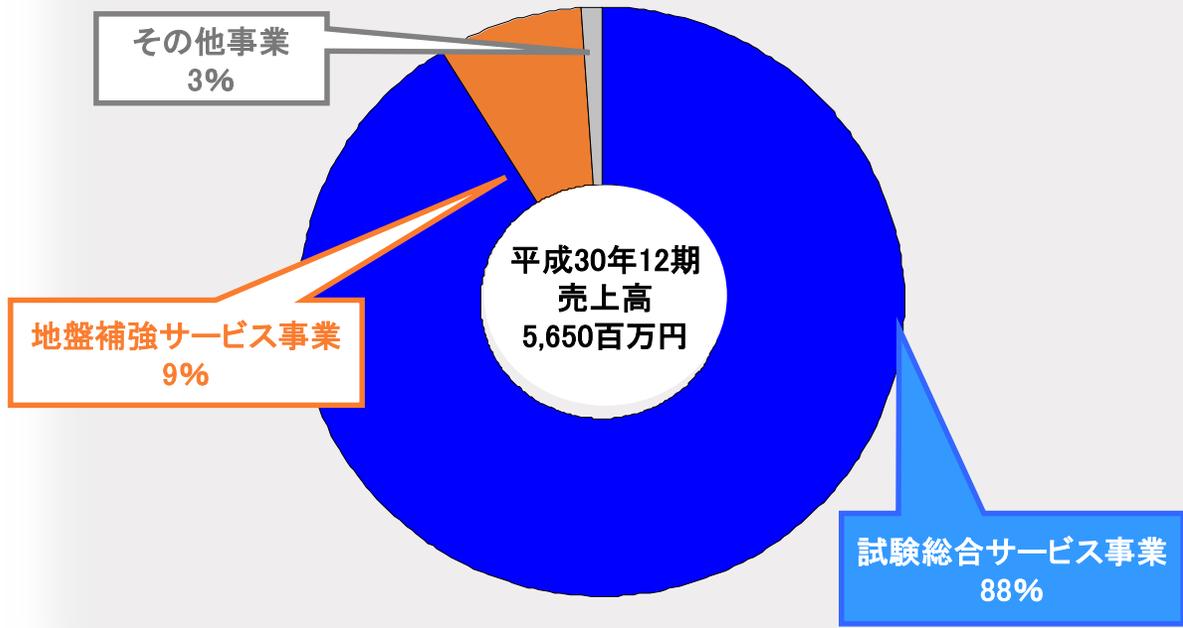
# 事業の内訳

国土管理総合試験所

2018年12月期

セグメント別売上高内訳

試験総合サービス事業売上高内訳



土木管理総合試験所では次世代の育成、地域の安全・安心に焦点を当てたCSR活動に取り組んでいます



5. 環境イベント



1. SIP  
(戦略的イノベーション  
創造プログラム)



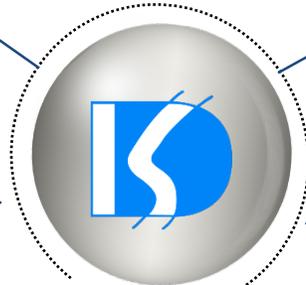
4. 社会福祉活動



3. 地域イベント



2. 職場体験学習





## 【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部企画課

TEL:03-5846-8385 / FAX:03-5846-8386

E-mail : sikenjyo@dksiken.co.jp

〒110-0005

東京都台東区上野5-15-14-5F